気　象　業　務　の　歴　史

明治

大正

昭和

平成

1912

1926

1989

気象業務

気象 ･地震観測開始1875

天気予報開始1884

航空気象業務開始1930

気象業務法施行1952

津波予報開始1952

気象レーダー運用開始1954

気象庁昇格1956

数値予報開始1959

アメダス運用開始1974

ひまわり運用開始1978

震度計展開開始1990

気象業務法改正、気象予報士導入1993

分布予報、時系列予報導入1996

震度階級改訂1996

量的津波予報開始、津波予報区細分1999

自然災害

人数は死者 行方不明の合計

7,273人 濃尾地震1892

461人 磐梯山噴火1888

22,072人 明治三陸津波1896

142,807人 関東大震災1923

144人 十勝岳噴火1926

3,036人 室戸台風1934

3,769人 福井地震1948

5,098人 伊勢湾台風1959

142人 チリ地震津波1960

345人 昭和57年7月豪雨1982

44人 雲仙岳噴火1991

北海道南西沖地震1993

79人 平成5年8月豪雨1993

229人

6,433人 阪神淡路大震災1995